

進路だより

令和4年3月10日発行
進路・卒後支援部

進路行事

『校内における実習』

3学期は新型コロナウイルス感染症対応のため、産業現場等における実習を行うことができませんでした。そこで今回は、2年生1名が3日間、校内において実習を行った様子を紹介します。実習内容は、タオルたたみ、シール貼り、封筒作り、清掃、パソコン操作、農作業などです。作業服を着て身支度をしっかりと整えて、どの作業にも意欲的に取り組むことができました。また、時間内、集中して作業を行うことができ、『あきらめないで最後まで作業をする』という目標も達成することができました。



タオルの表裏に気を付けながら
丁寧にたたむことができました。



紙袋にシールを貼る作業では、シールをまっすぐ
に貼ることを意識して取り組みました。

キャリア教育

『各学部のキャリア教育実践報告』

《小学部》

小学部では、「あいさつや返事をする」「自他への関心を高める」「友達の気持ちや考えを理解しようとする」ことを重点目標に掲げました。その取り組みについて、紹介します。

○あいさつや返事をする

今年も新型コロナウイルス感染症対応のため、ソーシャルディスタンスを保ちながら、みんなで元気にあいさつをすることができました。廊下を歩いている友達に、教室の中から大きな声で「○○さーん!」と呼びかける姿を見ると、心はいつも繋がっていることを実感することができました。

また、授業中は質問や意見を言うときには、大きな声で「はい」と言って挙手しています。子供たちの元気なあいさつや返事が教室の内外に響いていて、校訓の「明るく、寛く、健やかに」をモットーに生活することができました。



○自他への関心を高める。

生活単元学習や生活、総合的な学習の時間や自立活動の時間を使って、学部全体で教室の掃除や球根の植え付けや、さつまいもの収穫などを行ってきました。友達だけでなく植物や生き物への関心も高めて、みんなで働くことの楽しさと季節の移ろいを感じることができました。



○友達の気持ちや考えを理解しようとする

1、2組は道徳の授業が毎週1時間あります。「ゆうきの心配」という単位では、「思いやりって何かな?」を考えていきました。友達と話し合う中で、相手の気持ちを思っただけでなく、相手の気持ちを思っただけでなく、友達の気持ちを感じて自分が優しくできることもうれしいことだと気付くことができました。

最後に自分の思いやりエピソードを発表しました。



「思いやりエピソード」

- ・お友だちがひとりでは立てなそうだったので手をかした。
- ・先生がひとりではつえをはこんでいたので、てつた。
- ・お母さんのにもつが重そうだからもってあげた。
- ・つい立てをなおしていたら、てつたてくれた。
- ・こまっていたら、友だちがてつたてにきてくれた。

思いやり

《中学部》

中学部では、「他者の良さを知り、互いに尊重する」「職業や勤労への関心を高める」ことを重点目標に掲げました。その取り組みについて、紹介します。

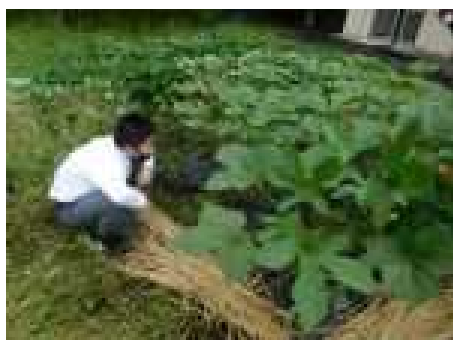
○他者の良さを知り、互いに尊重する

中学部では在籍する生徒の数が少なく、他者と学びを共にするという経験ができていく環境になっています。そのような状況下では、児童生徒会の行事などで他学部の児童生徒と学びを共にすることがキャリア教育の貴重な機会になっています。共に活動する中で、相手の良さを知り、互いを尊重する経験を積んでいます。写真は校内ウォークラリーのものです。みんなと意見交換しながらクイズやゲームなどに取り組みました。



○職業や勤労への関心を高める

将来に向けて職業や勤労について考えました。自分の興味のある作物について調べ、栽培し収穫することで働くことについて体験的に学習をしています。写真はオクラです。だんだんと成長していくオクラを見ることは楽しく、自分で育てた作物が収穫できたときの喜びは、将来の勤労意欲につながるものと思っています。



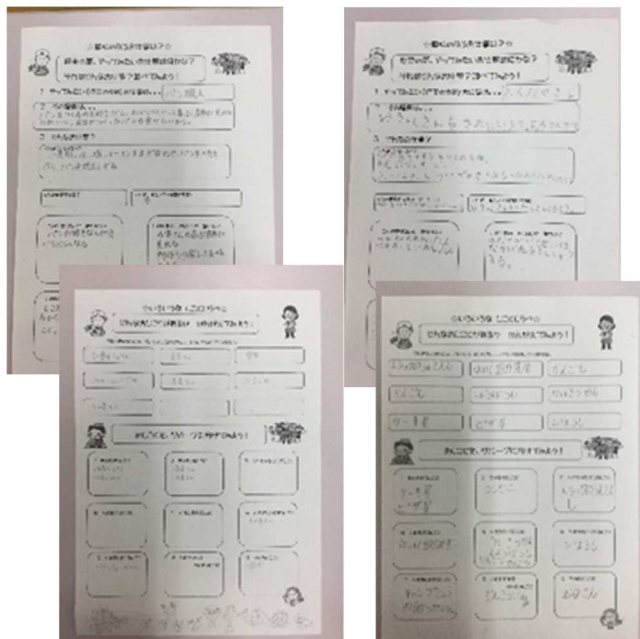
《おおるり分教室》

おおるり分教室では、キャリアプランニング能力を高めることを重点目標に設定しました。各学部における、キャリア教育につながる取り組みについて紹介します。

○キャリアプランニング能力を高める（小学部）

【色々な職業について調べよう】

小学部では、「総合的な学習の時間」を使い、色々な職業があることを知り、興味・関心をもつことを目指した活動を行いました。「いろいろなしごと調べ」プリントを活用して、どのような仕事があるかを考えました。自分が将来なりたい仕事や、身近な人の仕事など、自分が知っている仕事の名称をたくさんプリントに記入しました。また、仕事の内容ごとにグループに分かれて、友達と意見を交換し合いました。さらに、自分が興味のある仕事や、将来やってみたい仕事について、どんな仕事なのか、どんな道具が必要なのか、どんな時が忙しいのか、など具体的な項目について調べました。友達と活発な意見交換がなされ、職業への関心が高まりました。



○キャリアプランニング能力を高める（中学部）

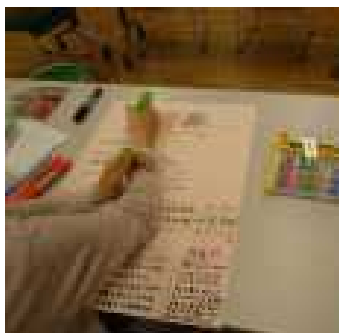
中学部では、「総合的な学習の時間」を使い、職業や進路についての理解を深め、必要な情報を選択、活用できることを目指した活動を行いました。

【適職診断ゲーム】

適職診断ゲームは、生徒が興味関心をもっている事柄から、将来向いている仕事を発見するきっかけとして取り組んでいます。自分自身も知らなかった一面を発見したという声上がり、職業に対する考え方についても意見を交換することができました。

【職業調べ】

「Edu Town あしたね」などのサイトを利用し、興味のある職業について調べました。最後に、最も興味関心のある職業を1つ決めてHPなどで集めた情報をもとに「興味ある職業について」仕事内容や必要なスキルなどについてまとめました。また、看護学生さんからも職業の選択時期や看護という職業を目指したきっかけ等について話を聞くこともできました。



看護師を目指したのは……。必要なことは……。

看護学生さんとの話

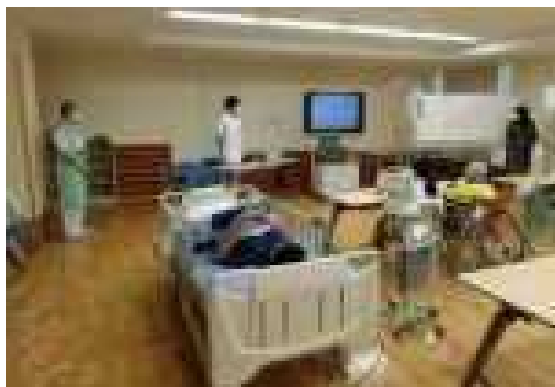
【上級学校調べ】

上級学校調べでは、高等学校の制度や興味をもった高校について、インターネットを使って調べました。様々な学科があることや、高校卒業後の進路先について知ること、進路選択の意欲を高める機会になりました。



【職業講話】

今年度、自治医科大学附属病院 画像診断部 副技師長 永見健先生、技師 伊藤大貴先生を招いて職業講話を実施しました。放射線技師としての職務内容ややりがい、進路選択に至るまでの経緯などについて御講話いただきました。放射線技師として働くことの責任の重さや喜びなど、ドラマで描かれたエピソードを例えにした話は、分かりやすく、興味深い、印象に残る内容となりました。働くことの大変さや尊さに気付くこともできました。



×線防護服を着て仕事をしています。実際に触れてみて！



進路情報

○事業所紹介

*新しい事業所を紹介します。見学されたい方は担当：米山まで

施設名	グループホーム RASIEL（ラシエル）宇都宮
所在地	宇都宮市岡本町2-1-15 番地171
定員	20名
内容	・日中サービス支援型のグループホームです。新築でバリアフリーの施設です。本校近くのスーパー「とりせん」のそばにできました。 ・R4年5月にオープンする予定です。



～「グループホーム」とは？～

一軒家やアパートなどに障がいのある人が集まって一緒に暮らしながら、生活に必要な支援を受けるのが「共同生活援助」というサービスです。「グループホーム」とも呼ばれています。

「介護サービス包括型」「日中サービス支援型」「外部サービス利用型」があります。「介護サービス包括型」とは主に夜間や休日において、支援員や世話人が食事や入浴、排せつなどのサービスを提供します。「日中活動サービス支援型」とは重度の障がいである、または高齢であるために日中活動サービス等を利用できない方に、日中においてもグループホームで介護サービスを提供します。「外部サービス利用型」は委託を受けた外部の居宅介護事業者が介護サービスを提供します。最近、新しいグループホームが増えてきています。興味のある方は担任の先生を通じて進路・卒後支援部までご連絡ください。

**進路だよりはホームページでも確認できます！
来年度も、よろしくお願いします！**

